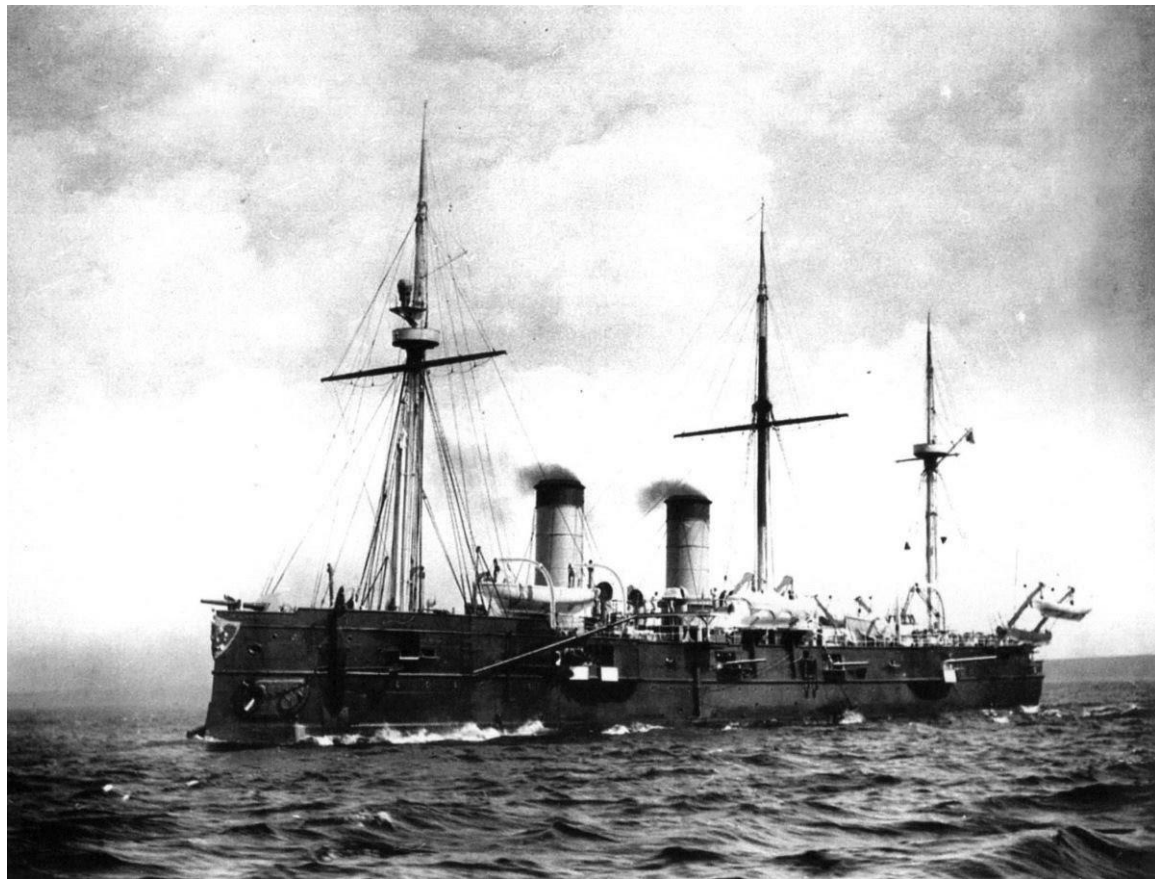


Павел, Пётр, Дмитрий и Александр
братья Максутовы

Александр Дмитриевич, Дмитрий Дмитриевич, Дмитрий Петрович и Ольга Павловна Максутовы



Крейсер 1 ранга «Владимир Мономахъ»



лейтенант Максотов Д.П. (средний ряд 3й
справа)



Фотография русских пленных моряков Тэрухиса Кусано в Ниигате, Япония



ロシア人捕虜将校 ひ孫2人が金沢訪問

114年前、金沢で捕らわれた兵隊の写真から、日本とロシアの新たな交流が始まりました。昨年、写真について調べ始めたのは、金沢西病院（金沢市長坂千目）の4代目主任野野久さん（75）で、初代の野野久さんが開業翌年の1905（明治38）年に撮影、代々伝えられてきた一枚の顔のぼんやりした写真がきっかけでした。店を引退したのを機に調査を思い立ちました。

訪問の経緯

野野久さん（75）は、114年前、金沢で捕らわれた兵隊の写真から、日本とロシアの新たな交流が始まりました。昨年、写真について調べ始めたのは、金沢西病院（金沢市長坂千目）の4代目主任野野久さん（75）で、初代の野野久さんが開業翌年の1905（明治38）年に撮影、代々伝えられてきた一枚の顔のぼんやりした写真がきっかけでした。店を引退したのを機に調査を思い立ちました。

明治期の北國新聞に名簿

野野久さん（75）は、114年前、金沢で捕らわれた兵隊の写真から、日本とロシアの新たな交流が始まりました。昨年、写真について調べ始めたのは、金沢西病院（金沢市長坂千目）の4代目主任野野久さん（75）で、初代の野野久さんが開業翌年の1905（明治38）年に撮影、代々伝えられてきた一枚の顔のぼんやりした写真がきっかけでした。店を引退したのを機に調査を思い立ちました。

墓地整備に感謝

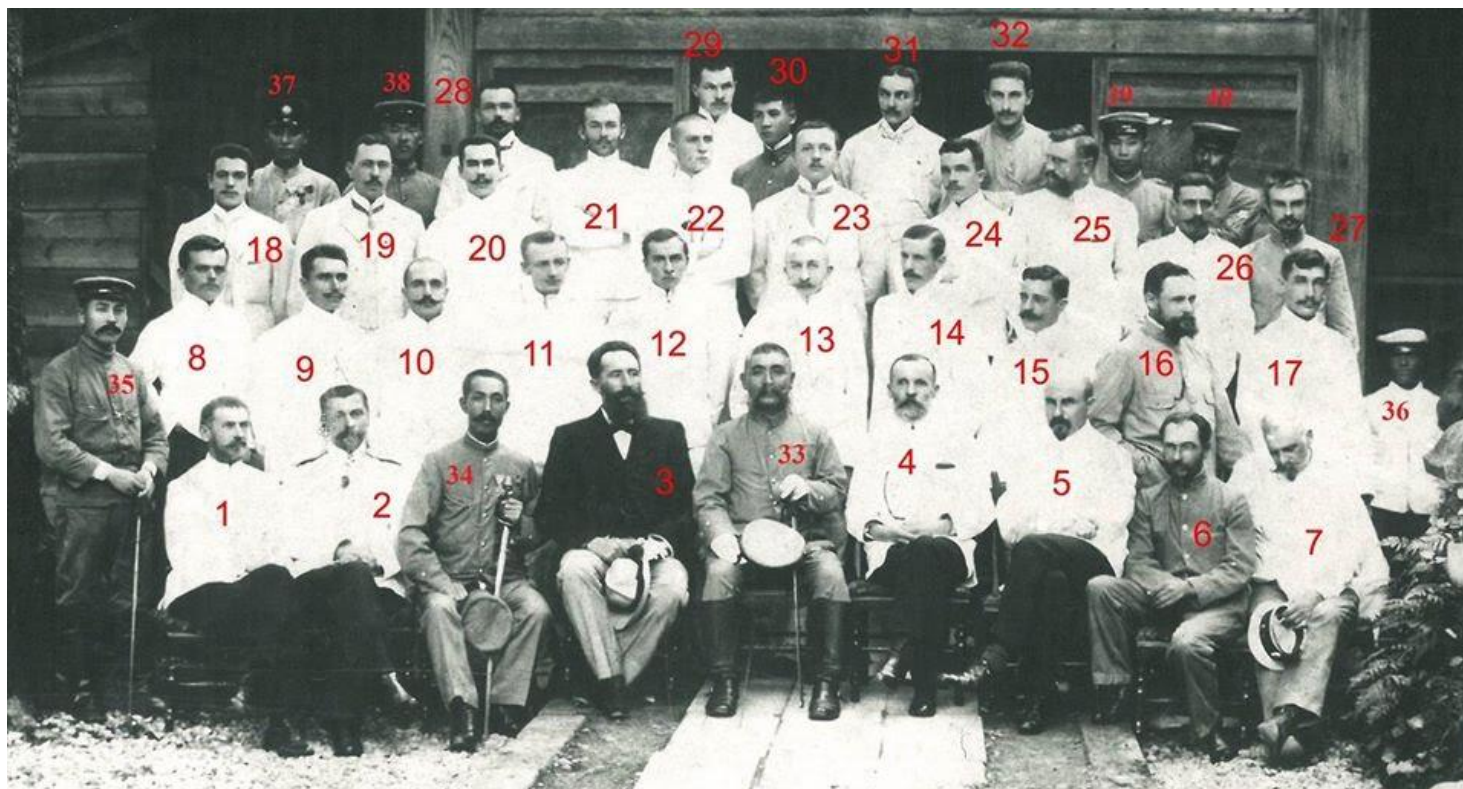
野野久さん（75）は、114年前、金沢で捕らわれた兵隊の写真から、日本とロシアの新たな交流が始まりました。昨年、写真について調べ始めたのは、金沢西病院（金沢市長坂千目）の4代目主任野野久さん（75）で、初代の野野久さんが開業翌年の1905（明治38）年に撮影、代々伝えられてきた一枚の顔のぼんやりした写真がきっかけでした。店を引退したのを機に調査を思い立ちました。

素晴らしい瞬間

野野久さん（75）は、114年前、金沢で捕らわれた兵隊の写真から、日本とロシアの新たな交流が始まりました。昨年、写真について調べ始めたのは、金沢西病院（金沢市長坂千目）の4代目主任野野久さん（75）で、初代の野野久さんが開業翌年の1905（明治38）年に撮影、代々伝えられてきた一枚の顔のぼんやりした写真がきっかけでした。店を引退したのを機に調査を思い立ちました。

Лейтенант Дмитрий Петрович Максудов вахтенный офицер крейсера «Владимир Мономах» и капитан Л.Гв.Преображенского полка





16й на фото опознан прадед Д.П.
Максутов

Встреча Генерального консула России в Ниигате Михаила Сергеева с мэром города Ниигата, господином Кусано и потомками героев Цусимы, 2019 год.



Фотография передана храму Кагандзу в г.
Канадзава

Потомки братьев Максutowых:

Дмитрий Дмитриевич Максutow – астроном, оптик

Дмитрий Дмитриевич Максutow – полярник, кораблестроитель

Татьяна Дмитриевна Максutowа – дочь Д.Д.Максutowа

